

52:24 侍従長はさらに、祭司のかしらセラヤと次席祭司ゼパニヤと三人の入口を守る者を捕え、

52:25 戦士の指揮官であったひとりの宦官と、町にいた王の七人の側近と、一般の人々を徴兵する將軍の書記と、町の中にいた一般の人々六十人を、町から捕え去った。

52:26 侍従長ネブザルアダンは彼らを捕え、リブラにいるバビロンの王のもとへ連れて行った。

52:27 バビロンの王は彼らを打ち、ハマテの地のリブラで殺した。こうして、ユダはその国から捕え移された。

52:28 ネブカデレザルが捕え移した民の数は次のとおり。第七年には、三千二十三人のユダヤ人。

52:29 ネブカデレザルの第十八年には、エルサレムから八百三十二人。

52:30 ネブカデレザルの第二十三年には、侍従長ネブザルアダンが、七百四十五人のユダヤ人を捕え移し、その合計は四千六百人であった。

52:31 ユダの王エホヤキンが捕え移されて三十七年目の第十二の月の二十五日に、バビロンの王エビル・メロダクは、彼が即位した年のうちに、ユダの王エホヤキンを釈放し、獄屋から出し、

52:32 彼に優しいことばをかけ、彼の位をバビロンで彼とともにいた王たちの位よりも高くした。

52:33 彼は囚人の服を着替え、その一生の間、いつも王の前で食事をした。

52:34 彼の生活費は、死ぬ日までその一生の

間、日々の分をいつもバビロンの王から支給されていた。

エホヤキンはゼデキヤの前の王です。彼はバビロニヤに捕らえられましたが、ゼデキヤ王ほど悲惨ではなく、後に釈放されたとあります。ゼデキヤ王はバビロニヤに逆らって戦いましたが、彼はそうしませんでした。

バビロニヤに捕らえられるのは神の懲らしめであり、それを甘んじて受ける必要があったのです。そこには現実的な強国バビロニヤという面がありましたが、一方主の御心もあったのです。

主の御心は現実の中に表されます。主が現実を導かれるからです。私たちは信仰のない者に左右されるのは面白くない思いになりますが、それもまた主の御手の中にあるのです。

主に従いきれないで抱え込んでしまう現実があります。それさえも用いて私たちを練り上げてくださる主を信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

